市長対談 ほっとTタイム

高齢者や家族が安心して生活できるように

高齢者福祉なんでも相談センター

令和７年６月で開所して１年を迎える「高齢者福祉なんでも相談センター」。今回は、同センターの相談員や民生委員、高齢のご家族がいる市外にお住まいの方と一緒に、高齢者の今後の暮らし方やそれを支える地域福祉、同センターの役割についてお話しします。

センターに寄せられる相談はさまざま

市長　高齢者福祉というのは非常に重要な分野ですけれども、正直なところ取っ付きにくくて、分かりづらいでしょ。高齢の方やそのご家族が困った時に、どうしたらいいか、誰に相談したらいいかなんてなかなか分からないですよね。そんな時に気軽に相談できる窓口を作ろうと昨年6月に開所したのが「高齢者福祉なんでも相談センター」です。開所してもうすぐ１年が経ちますが、相談件数が想定以上に多いです。山田さんは現在東京でお仕事をしているそうですが、親御さんが高崎にいらっしゃるそうですね。

山田　はい、母が高崎に住んでいます。一人暮らしなので、連絡が取れない時は不安になります。今は健康上大きな問題はないですが、高齢なので病気やけがが心配です。

市長　それは心配ですね。高齢な方の健康上の問題は介護にもつながっていきますよね。相談センターに寄せられる相談の中では、やはり茂木さんが担当している介護に関する相談が多いですか。

茂木　働く子ども世代の方からの親の介護に関する相談が多いですね。介護が必要になった時に、何から手を付けていいか分からないという方が非常に多いです。また、子どもは年老いていく親の姿を見て心配するけれど、親自身はいつまでも元気だと思っているなど、親子間の温度差があるという相談もあります。

富岡 賢治市長

高齢者福祉なんでも相談センターをはじめ全国でも例のない先進的な福祉施策を展開し、高齢者やその家族が安心して暮らせるまちづくりを進める

山田 直樹さん

東京都在勤。大学進学まで本市で暮らし、現在は市内で一人暮らしをする母の元を時々訪れる。普段は様子を知ることが難しい遠方の母のことを心配している

市長　だから、茂木さんのような相談員のアドバイスが重要なわけですね。電話での相談もありますか。

茂木　電話での相談も受け付けていて「家族や友達にもこんなことは話せない。誰に相談していいか分からないから電話しました」と話す方もいます。最初は少しこわばった声でも、最後は明るく電話を切っていただけます。

市長　身近な人にはかえって悩みを打ち明けられないこともありますよね。電話の方が話しやすい場合もある。相談センターがそういう時に役に立てるのはうれしいですね。吉新さんは民生委員として 17 年も活動していただいているそうですが、高齢の方が困っている場面に接することも多かったのではないですか。

吉新　民生委員の活動で、生活上の心配ごとの把握のために高齢者のお宅を訪問すると、本当に色々なことで困っているのが分かります。例えば、介護が必要になって施設に入ろうと思っても、普通どうしたらいいか分からないですよね。自分で調べようと思っても難しいと思います。

市長　一人暮らしの方だと調べようがないですよね。施設に直接電話するようなことはまずないと思うので、吉新さんのような民生委員が話を聞いてくれると心強いですね。

吉新　ありがとうございます。でも、何かあった時に民生委員に頼れる人ばかりではありませんから、色々な相談に乗ってもらえる相談センターはありがたいです。午前 10 時から午後８時まで、夜も相談を受け付けていますし、土曜日・日曜日でも相談できますから、とても助かりますよね。

市長　そう言ってもらえるとうれしいです。山田さんみたいに忙しい人は、夜間や休日でないと相談できないですよね。

山田　普段は東京で仕事をしていて、時々高崎に帰ってきたり、母と連絡を取ったりはしていますが、やはり母の状況が心配になります。相談センターのように相談できるところがあるのはとても安心できます。

市長　東京からすぐには会いに行けないですし、隣の家の人に様子を見に行ってくださいとお願いするのも難しいですからね。高崎では、緊急通報装置などの機器で 24 時間 365 日体制で見守る「高齢者等あんしん見守りシステム」や、介護の手助けが必要になった時に電話１本で駆け付ける「介護 SOS サービス」など、高齢者の安心を守る独自の取り組みを行っています。ぜひ山田さんのような方にも使っていただきたいのですが、今まで市外に住んでいる人がそういうサービスを知るにはハードルが高かった。でも、相談センターができたことで、こういうサービスがもっと使いやすくなると思います。

お金に関する相談にも対応

市長　老後の生活の不安として、金銭面を心配される方も多いと思い、ファイナンシャルプランナーによるお金に関する専門相談も設けましたが、やはりお金に関する相談は多いですか。

高橋 瑞枝さん

日本ファイナンシャルプランナー協会群馬支部長。同センターで資産や相続など、お金に関する相談を専門に対応している。相談者の安心した様子が見られた時にやりがいを感じる

高橋　老後の生活費が心配という方は多いです。「老後は 2,000 万円必要だ」などとよく報道されているので、不安になってしまうんですよね。他にも後見人や相続について相談したいという方もいらっしゃいます。

市長　不安があっても、いきなり法律事務所みたいなところには相談に行けないですよね。気軽に相談できるような所があるといいと思っていました。相談に来た人の反応はいかがですか。

高橋　生活費の不安を抱えている方に生活設計や資金計画のお話をすると、最初は不安そうにしていた方も安心してお帰りになります。私を含むファイナンシャルプランナー４人で毎週水曜日と、月に１回土曜日に来ていますが、相談の予約はほとんど埋まっています。これだけ多くの方が相談にいらっしゃるというのはすごいことだと思います。

市長　お金の問題は自分だけで解決するのは難しいですから、高橋さんのような専門家に気軽に相談できるのはありがたいことです。

なんでも相談してほしい

市長　もし困ったことがあれば、自分で全部抱え込まないで相談センターを頼ってほしいですね。そのためにも、もっと多くの方に相談センターを知っていただくというのが今後の課題の一つですが、山田さんは相談センターのことはご存じでしたか。

山田　私自身は普段高崎にいないので知りませんでしたが、母は知っていました。私は仕事上、さまざまな自治体の取り組みを調べていますが、高崎の福祉は非常に充実していて、時代の先端を行っていると思います。ぜひ今後もこのような取り組みを続けてほしいです。

市長　先ほどお話しした「高齢者等あんしん見守りシステム」や「介護 SOS サービス」などの取り組みを皆さんに知ってもらい、利用してもらうのは簡単ではありません。相談センターを通じて、そのような取り組みを必要としている人につなげていきたいと思います。本日はありがとうございました。

一同　ありがとうございました。

対談の様子を動画でご覧いただけます

高齢者福祉なんでも相談センター

吉新（よしあら） 百合子さん

本市の民生委員児童委員協議会副会長。民生委員として 17 年以上、地域の高齢者を支援。活動が直接的な支援につながることばかりではないが、困りごとが解決した時の相談者の笑顔が喜び

茂木 直子さん

同センターで介護についての相談に対応。社会福祉士の資格を生かし、これまで医療機関の相談員や本市の生活保護のケースワーカーに従事。令和６年の開所時から相談員に就任